



社会教育便り

平成25年度 高知県公民館研究大会（幡多大会）

1月30日（木）に県内各地から約150名の公民館関係者、教育委員、社会教育委員、行政関係者等が集まり、平成25年度 高知県公民館研究大会（幡多地区）が宿毛市立宿毛文教センターで開かれました。



この会は、「公民館活動と生涯学習との関連について学習し、公民館が地域づくり・人づくりの拠点となるための方策を研究すること」を趣旨とし、高知・高岡・安芸・中央・香美・幡多の地区が輪番で開催しています。

開会行事の後、表彰行事があり、その後、宿毛元気クラブ会長の清家敬太郎氏による「わたしと公民館活動の関わりについて」の実践発表、愛媛大学名誉教授の讃岐幸治氏に「公民館と地域づくり」という演題で基調講演をしていただきました。講演後は、参加者による熟議が行われ、「まちづくりに関わる公民館活動」について、それぞれの立場での情報交換、現状や課題について話し合いました。

準備から駐車場の誘導等に至るまで、宿毛文教センターの職員の皆様をはじめ、幡多地区社会教育連絡協議会の皆様、関係者の皆様には大変お世話になりました。この場をお借りしまして感謝申し上げます。



—実践発表—

様々な活動をされている清家氏。公民館事業として「カヌー体験」、「山登り」、「お化け屋敷」などの様子を写真を使って説明していただきました。また、自然豊かな宿毛の良さも紹介していただきました。



—表彰行事—

今回の受賞者はのべ19名。多年にわたり精勤し、公民館業務に献身的な努力をされた方や職務に関して、特に模範となる業績があった方に贈られました。受賞者の皆様、おめでとうございます。



—基調講演—

讃岐先生から、公民館は、「自立と公民によってつくられる場所」、「創る・結ぶ・集まる・学ぶ」、「ビジョンがあり、活動につながって予算が生まれる。」など公民館活動のキーワードとなる話がたくさん出されました。



グループでの熟議の後、4つのグループに発表していただきました。